

【めあて】自分なりの見方や感じ方で作品に親しもう。

5月29日 提出

図工

6年生5月の課題

鑑賞

用意するもの

☆教科書 図画工作5・6下 ☆自主学习ノート
☆筆記用具

《鑑賞とは》芸術作品などにふれて、その価値を理解し味わうこと。

6年生は修学旅行で倉敷市にある大原美術館へ行く予定です。絵をみながら自分らしい見方や感じ方で味わい、鑑賞することを楽もう。

活動①

下の「ふ富嶽三十六景 と遠江山中」かつしかほくさい葛飾北斎 作をみて、絵の中の人たちは、どのような時間を過ごしているのでしょうか。話し声や音、においを想像してみましょう。また、ふしぎだな、おもしろいなと感じたところに注目してみましょう。



活動②

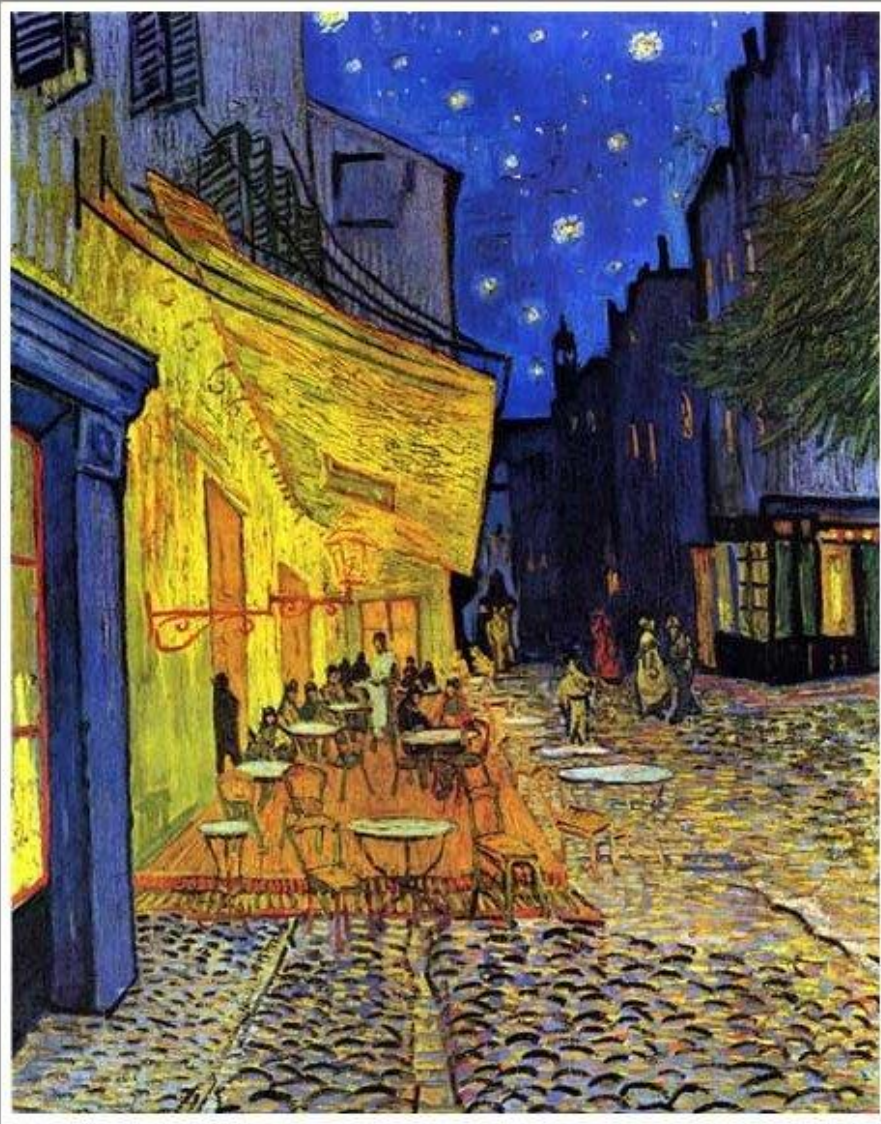
自主学习ノートに想像したこと・考えたこと・思ったことを自由に書いてみよう。たくさん書きだしてみよう。

思いつかない場合は次の視点で見よう。

- 登場人物や景色から感じる、生活の様子。
- この絵の表現（絵の表し方、画面のつくり方、色の感じ等）

活動③

同じように「夜のカフェテラス」フィンセント・ファン・ゴッホ 作をみて、考えたこと・想像したこと・ふしぎだな、おもしろいなと感じたことを自主学习ノートに書きだしてみよう。



思いつかない場合は次のことを想像してみよう。

- カフェに集まってくる人たちはどんな話をしているのかな。
- 道の向こうは、どのような街並みが広がっているのかな。

活動④

二つの作品を比べて、思ったこと・感じたこと・考えたことを自主学习ノートに書きだしましょう。

絵をみて、思ったこと・感じたこと・考えたことは人それぞれ違います。
自由にのびのびと、自分の意見を書きだして作品鑑賞を楽しんでください。